

令和3年10月15日発行(1,4,10月の各15日発行)

NO.205
10^{2021.}
月号

徳島県治山林道協会

治山林道協会報

第37回治山林道写真コンクール

最優秀賞 丸田 泰史

目次

CONTENTS

- 第63回通常総会開催 … 1
- 林野公共事業予算に関する要望活動 … 3
- 第33回施工委員会開催 … 5
- 令和3年度治山林道技術基本研修会開催 … 11
- 令和3年度森林土木総合技術研修開催 … 12
- お知らせ(令和3年度治山林道技術研修会) … 12
- 第37回治山林道写真コンクール受賞者発表 … 13
- 本協会の主な動向(4月~10月) … 13
- 編集後記 … 13

題字 山口俊一

第63回 通常総会開催



山口会長

第六十三回徳島県治山林道協会通常総会が、七月五日徳島市の徳島県建設センターにおいて、関係者約九十名の参加で開催されました。

今年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ではありましたが、感染予防対策を徹底した上で、ご来賓として林野庁森林整備部長 小坂善太郎様、徳島県知事 飯泉嘉門様、徳島県議会議長 岩丸正史様をはじめ多くの方々にご臨席いただきました。

冒頭で山口会長より、国土強靱化対策等に係る林野公共予算の確保についての話題を交えた挨拶の後、議事につきましては、議案第一号「令和二年度事業報告並びに収支決算の承認について」、議案第二号「令和三年度事業計画並びに収支予算の承認について」、議案第三号「令和三年度借入金 の最高限度額の承認について」、議案第四号「役員 の選任について」、議案第五号「その他」についてご審議いただき、いずれも原案どおりに承認をいただきました。

また、議事に先立ち、林道維持管理を始め、治山林道工事等において功績のあった方々を表彰する式典が行われました。今回の表彰は、第四十三回林道優良維持管理者の知事表彰並びに治山林道協会会長表彰、令和二年度優良工事施工者表彰の治山部門・林道部門・森林整備部門、及び第三十七回治山林道写真コンクールの各協会会長表彰を行いました。受賞された皆様方に心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍・ご精励を御祈念いたします。

なお、今回の各賞の受賞者の紹介と徳島県治山林道協会の役員名簿は、次のとおりとなっております。



岩丸議長挨拶



飯泉知事挨拶



小坂森林整備部長挨拶



会長表彰



知事表彰

徳島県治山林道協会役員名簿

役職名	氏名	所属
会長 理事	山口 俊一	衆議院議員
副会長 理事	後藤 正和	神山町長
〃	西村 裕	徳島県建設業協会会長
理事	坂口 博文	那賀町長
〃	藤田 元治	美馬市長
〃	藤井 正助	阿波市長
〃	嘉見 博之	徳島県県議会議員
〃	南 恒生	徳島県県議会議員
〃	平田 茂	徳島県建設業協会 脇町支部長
〃	榊野 千秋	木頭森林組合長
〃	片山 喜三郎	徳島県建設業協会 海部支部
専務 理事	井関 廣幸	事務局
監事	兼西 茂	つるぎ町長
〃	松浦 敬治	東みよし町長
〃	岡村 純夫	徳島県建設業協会 川島支部長
顧問	川原 哲博	前副会長理事

任期は令和3年度総会から令和5年度総会まで

第43回 林道優良維持管理者

(知事賞)

管理主体	代表者	路線名
美馬市	市長 藤田 元治	杖立線

(会長賞)

海陽町	町長 三浦 茂貴	神野内妻線
-----	-------------	-------

令和2年度 優良工事施工者

○ 徳島県治山林道協会会長表彰 治山事業

三好市	(有)谷建設	谷 雅文
那賀町	廣間組(有)	西田 静男
神山町	(有)西森組	西森 規夫

林道事業

美馬市	南部建設(株)	坂本 優子
上勝町	(株)川端建設	川端 多賀雄
海陽町	(株)谷田組	谷田 勝良

森林整備事業

那賀町	木頭森林組合	榊野 千秋
-----	--------	-------

林野公共事業予算に 関する要望活動

去る九月十五日、農林水産省林野庁長官室において、山口会長が、天羽長官、織田次長、小坂森林整備部長に、令和四年度当初予算に向けた林野公共事業の推進・拡充についての要望を行いました。
例年は、新年度当初予算の概算要求前の八月下旬に実施していますが、今年度においても、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、緊急事態宣言が延長されたため、二年連続でこの時期の要望活動となりました。



行いました。

これに対し、天羽長官からは、昨年度に引き続き、平成二十一年度当初予算規模水準（予算総額二千六百億円超）の確保を目指すとともに、地域の「安全・安心の担い手」である森林土

木工事の事業者の確保にも取り組むとの力強い回答をいただきました。

また、関係各課において、井関専務理事が関口計画課長、石田整備課長、佐伯治山課長に対し、徳島県の森林土木事業の現状について説明するとともに、予算確保に向けた要望を行いました。

更には、徳島県選出の国会議員、後藤田衆議院議員、福山衆議院議員、中西参議院議員、三木参議院議員、高野参議院議員に対し、徳島県治山林道協会、及び治山林道四国地区協議会の令和四年度予算の要望活動を行い、各事項について御理解を頂きました。要望事項の内容は次のとおりです。

林野公共事業予算に関する要望書

平素は、治山林道事業の推進並びに本会の活動につきまして、格別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年も昨年を引き続き、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴い、「緊急事態宣言」が再三、発出されるなど、社会経済活動が大幅に制限され、森林林業・森林土木事業への影響も深刻化しているところです。

この様な状況の中、国におかれましては、国土強靱化や林業の成長産業化、地球温暖化防止等の対策を行う林野公共事業予算の確保や五か年加速化対策の予算措置に、迅速かつ継続的に取り組んでいただき、深く敬意を表します。

さて、今年も東海地方をはじめ全国各地で、線状降水帯の発生に伴う記録的な大雨により山地災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が奪われました。まさに日本

列島は、いっどこで大災害が発生するか予想がつかない状況にあり、国民の安全・安心に関する意識は、益々高まってきております。

また、地方においては、財政事情が極めて厳しい中、山村経済を活性化し、地方創生を実現するため、国産材の安定供給体制の確立に向けた生産基盤の整備や再造林等適正な森林管理をより一層推進することが喫緊の課題となっています。

これらに対応するためには、山地災害等に対する事前防災・減災対策の推進や持続的林業経営に向けた幹線林道整備の加速化など、「緑の国土強靱化」に資する治山林道事業の円滑な遂行が不可欠であります。

つきましては、令和四年度 当初予算において、次の項目について特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

○「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に推進するために必要な予算を当初予算において安定的・継続的に確保

○集中豪雨や台風、南海トラフ、活断層帯の地震による大規模災害に備えた事前防災・減災対策、復旧対策の充実と強化を図る「緑の国土強靱化」の推進

○「グリーン成長」の実現を目指した「森林吸収源対策」の強化や「林業の成長産業化」に資する林道を核とした路網整備の推進

○山間奥地、急斜面等条件不利地での施工における設計積算について更なる見直しによる現場条件に応じた適切な費用の確保

令和三年九月

徳島県治山林道協会

会長 山口 俊一

第三十三回施工委員会開催

第三十三回施工委員会が六月二十五日、徳島市の徳島県建設センターにおいて、開催されました。今年度においても、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、昨年同様に参加人数を調整し、時間を短縮するとともに感染予防対策を徹底した上で開催しました。

徳島県からは尾形森林整備課長をはじめ、各県民局の代表者らが出席し、まず、県森林整備課担当者から地域ブロック（全国）の要望事項に対しての林野庁見解、及び今年度から導入された「難工事」指定をはじめとした入札・契約

制度の改正点についての説明がありました。続いて県内各支部の改善要望事項について、各委員から説明後、県担当者から改善に向けての回答がありました。

近年、技術面や施工歩掛・管理、工事環境、また入札・契約制度が変化する中で、その早い変化に対応できず、現場が非常に苦慮する事態が生じています。このため、当委員会において、現場の実情を共有する体制を整え、適正に対応できるよう進めて参りたいと考えております。

令和三年度改善要望についての見解は次のとおりです。

令和三年度改善要望についての見解

改善要望事項

I 治山・林道共通事項

1 適切な工期の設定について

工期設定については、昨年度見直しがあったところであるが、同時期に工事発注が重なった場合、専門業者（索道・運搬ダンプ・ポンプ車・生コンダンプ等）の確保が難しく、工事工程に支障がでており、特に索道を設置している箇所については、架設撤去の日程調整に苦慮している。

このため、安全かつ着実に工事を進めていけるよう、地域の実情に応じて調整日数を加算した工期設定していただきたい。

2 条件不利地域において施工する「難工事」について【徳島、吉野川、美波】

令和三年四月一日以降の入札公告の案件において、地理的条件により施工上の制限がある等の条件不利地域で施工する工事について、適正に評価するとの入札制度の改正が行われたが、どのような工事が該当するのか、指定の基準及び、成績評点での評価内容についてご教示していただきたい。

見

調整日数の加算は困難ですが、専門業者の確保に関する理由により工程に遅れが生じた場合は不測の事由であることから工期延伸の対象となりますので監督員と協議してください。

難工事は、各管内における入札不調の状況や地域特性に応じて指定するものであります。具体的には、工事に使用する資材等の搬入に時間を要する、又は工事の施工に係る期間等に制約があるなどで、作業効率が著しく低下する工事に該当し、「入札への参加が敬遠されるおそれのある工事」を指します。また、成績評点については、最大で3点相当が加算されます。



解

3 治山林道事業における諸経費率等について

【吉野川】

山間奥地、急斜面等の条件不利地での設計積算において、適正な利益が確保出来るよう、諸経費率の見直し等の検討をお願いしたい。

4 除雪費用の計上について

【美馬】

治山林道工事は山間部が中心であり、冬期間においては、積雪により進入及び施工（生コン・資材の搬入）が困難となる。また、進入路となる県道は除雪を行っているが、林道や民家が無いところでは除雪を行わないため、現場まで自社努力で行っているのが現状である。

このため、除雪の必要がある場合は現場担当者との協議を行い、変更契約により経費を計上していただきたい。

5 資材の小運搬について

【美馬】

材料単価は設計上現場到着単価になっているが、山間奥地の現場においては、大型トラックの通行ができないため、資材仮置場を設けて資材の小運搬を行っているのが現状である。

このため、資材仮置場の借地料や小運搬の費用を設計で計上していただきたい。

6 ペーライン（均しコンクリート）について

【美馬】

治山林道工事の谷止工・擁壁工等の基礎面が岩盤の場合、基面整形・掘削面整形を行っても凹凸があるため、型枠を設置出来ない場合がある。

このため、自社努力で均しコンクリートを行っているが、基礎面が岩盤の場合、発注時より、ペーライン（均しコンクリート）を計上していただきたい。

なお、令和四年度から優良工事表彰に「難工事部門」が創設され、その実績を、令和五年度から総合評価で加点する予定となっています。

設計積算における山間僻地等の補正率については、治山林道必携（積算・施工編）により規定されておりますので、独自の調整率加算については困難であると考えています。なお、県では改善要望等を踏まえ、林野庁に対し間接経費率の見直し等の要望を行っているところです。

冬期の除雪作業等に係る現場管理に必要な経費につきましては、計上可能です。ですので監督員と協議してください。

現場状況による小運搬の計上が必要なものについては、設計変更による対応が可能です。ですので監督員と協議してください。

なお、土地の借地料につきましては、諸経費（共通仮設費）に含まれていません。

当初設計においては、ペーラインコンクリートは計上しておりませんが、掘削後の状況に応じて変更も可能です。ですので監督員と協議してください。

7 支障木の伐採作業に関わる労務費について

【三好】

伐採費は準備費として胸高直径に対応した金額で計上されているが、伐採後の玉切り・積み込み運搬等の伐採後の作業について発生する経費は実質、施工者が負担している。

このため、必要な経費については、設計に計上していただきたい。

(県土整備部等では、伐採後の作業として労務費を別途数量計上をし、後に変更契約として増額の対応をしていただいている。)

8 施工箇所が点在する工事の間接工事費について

【那賀】

施工箇所が1km以上離れている場合は、箇所ごとに間接工事費を算出することとなっているが、林道の施工箇所と残土処理場の施工箇所が1km以上離れている場合は、適用されるか否かご教示していただきたい。

9 週休二日制を導入した中での工期設定について

【美波】

受注者希望型の担い手確保モデル工事として週休二日制に取り組んでいるところであるが、発注者と受注者との工期設定が共通認識でないと思われるので、今一度、工期設定についてご教示いただきたい。

10 事業量について

【三好】

管内において、事業量の多い地区と少ない地区が発生していると思われる。このため、通常事業においては、なるべく均一性が保てるように事業計画(発注)を行っていただきたい。

補償木の伐採・枝払い・片付けの経費は計上していますが、現場条件も異なることから、現状を確認し実情に見合った経費で計上出来るように検討します。

林道の開設現場と残土処理場については、一連の作業を伴う工事であることから、同一工事とみなしています。

一昨年前に標準工期の見直しを行い、休日を考慮し週休二日に対応した工期設定となっています。

治山林道事業は、中山間地域における「防災」「生活基盤」の向上を図る上で、必要不可欠な事業であるため、事業の優先度や地域の実情を踏まえた適正な事業配分に加え、発注時期の平準化に努めます。

II 治山事業

1 現場内で発生した土砂の処理について

【徳島】

山腹工事等において、土工で発生した土砂は現場内処理を行っているが、崩壊土砂や掘削土砂が多量にある場合、現場内で処理しきれないことがあり、現場内処理ができない場合は、監督員と協議を行い、地外へ搬出するが、搬出先の選定や費用などで苦慮している。

このため、工事発注時点で、現場内処理が難しく地外への搬出が想定される場合は、当初時点で処理費用（数量や処理場までの運搬費）を計上していただきたい。

2 簡易索道の設計価格について

【徳島】

通常の索道設計は、歩掛りの見直しに改善が図られたが、軽微な作業用の簡易索道については、現状の設計価格と乖離している為、実情の価格に見合う価格に改善をお願いしたい。

3 ケーブルクレーン、モノレール運搬等の仮設工について

【三好】

現地調査の上、適正な運搬工にて設計していただきたい。

4 堰堤の目地について

【那賀】

「徳島県治山技術基準の運用」においては、谷止工の堤長二五m未満の場合、鉛直打ち継ぎ目の設置を必要としないとなっている。

しかしながら、クラックが入る恐れもあるため、堤長二五m未満であっても、一〇～一五m毎の鉛直打ち継ぎ目（目地材）が設置できるように、基準の変更について検討していただきたい。

発注時点では、現場内処理の可否を判断し設計しております。ただし、施工中に発生した崩壊土砂の発生など現地での処理が困難となる場合には、現場外への搬出処理を行うことができますので監督員と協議してください。

設計積算における簡易索道の歩掛かりについては、治山林道必携（積算・施工編）により規定されておりますので、独自の歩掛かりの設定については困難であると考えています。

現場条件に即した、適切な設計積算に努めます。

「徳島県治山技術基準の運用」においては、記載がありませんが、堤長が二五m未満であっても谷止工の規模、形状や掘削による土質区分等により、現行の基準で一〇～一五m毎に鉛直打ち継ぎ目の設置が可能です。

5 残存型枠を設置するための調整コンクリートについて 【那賀】

谷止工において、残存型枠を使用する場合、一段目の下に調整コンクリートを打設後に、型枠の設置を行う方が施工しやすいと思われる。
このため、水路工と同様に調整コンクリートの打設を設計時に計上していただきたい。

当初設計においては、掘削後の基面の状況が不確定なことから調整コンクリートは計上しておりませんが、掘削後の状況に応じて変更も可能ですので監督員と協議してください。

III 林道事業

1 林道での残土運搬について 【徳島】

林道開設時、現地の地形・地質等を考慮し、木材搬出や工事の効率化を図るため、適所に待避場を設置している。
しかしながら、工事等の残土搬出時において、待避場が少ない場合、複数のダンプでの作業は、運搬効率が悪くなり、工程に影響が出る。
このため、工事の効率化を図るため、随所に待避場等を設置できるよう検討していただきたい。

林道開設事業では、開通後の森林施業、関係車両の通行を考慮し、待避所や木材集積場を計画をしています。今後も、効率的な森林施業、開設工事が出来るよう積極的な設置に努めます。

2 林道工事の測点について 【三好】

林道工事においては、測点の間隔が短いため、横断面が多くなり、管理するのが負担となっている。
このため、国土交通省の工事と同様に、二〇mに一箇所程度の設定にしていただきたい。

林道計画予定地は起伏が多い地形であることから、実態に近い数量を把握するため現状の測点数が必要と考えています。

3 林道工事における支障木について 【三好】

支障木の搬出作業は地権者がすることとなっているが、実際は施工業者が実施しているのが現状である。
このため、必要期間を勘案した工期設定をお願いしたい。

工期については、工事に係る準備等を含めた適正な工期で発注しています。

4 林道の掘削について

【那賀】

必携では、切取幅5m未満は片切掘削に区分されているが、設計ではオープンカットとして計上されている。

このため、設計の基準を明示していただきたい。

5 コンクリート路面工について

【那賀】

コンクリート舗装工とコンクリート路面工の違いが分かりにくい為、施工管理上の管理基準（基準高）、品質管理（プルフローリング）の必要性を問われることがある。

このため、コンクリート路面工用の管理基準等を設けていただきたい。

施工基面がバックホウで施工可能な幅から高さ5m程度をオープンカットとして計上しています。

コンクリート路面工については、路盤工の一種であり管理基準については道路土工の基準高±5cmとしています。

また、林道においても品質管理基準は道路土工を適用しておりますので、路床についてはプルフローリング等による確認が必要となります。

以上の改善要望事項二十件につきましては、今後の事業執行に反映されるよう進めることとなりました。

委員会後の意見交換会においては、各県民局から管内の状況についての報告があり、これらの話題提供をもとに、活発な意見が交換されました。

また、今後とも各支部からの改善要望事項をもとに、中央会の技術・労働委員会を通じ、林野庁の関係各課へ改善要望を行って参りたいと考えております。



令和三年度 治山林道技術基本研修会開催

治山林道技術基本研修会が八月六日、徳島県木材利用創造センター大講義室において、開催されました。

本研修会は、会員様の要望により、今年度から新たに開催するものであり、治山林道事業に従事する若手技術者等を対象に、業務に係る基礎的な知識・技術等を習得させることにより、施工管理技術の向上および現場の安全管理の徹底に資することを目的

として実施しました。

昨今のコロナ禍の中、感染症対策として「三密」を回避するため、募集定員を三〇名程度としたところ、五〇名を超える応募があり、人数調整により三二名の会員が受講しました。

また、受講者には全国土木施工管理技士会連合会の継続教育学習制度CPDSの受講証明書（4unit）が交付されました。

研修の講師及び概要については次のとおりです。（敬称は略させていただきます。）

研修Ⅰ チェーンソーの安全操作について

徳島県農林水産総合技術支援センター

高度技術支援課

主査兼係長 林 真紀

治山林道工事を施工するにあたって、支障木の除去等において、チェーンソーの使用は不可欠なものであるため、安全操作や点検に必要な基礎的な知識・技術を習得する。

研修Ⅱ ケーブルクレーンの安全操作について

高岡索道工機 代表 高岡 幸夫

奥地の急峻な地形での治山林道工事においては、資材等の搬入搬出にケーブルクレーンの使用は不可欠なものであるため、設置や安全操作、そして点検に必要な基礎的な知識・技術を習得する。

研修Ⅲ 労働安全衛生について

徳島労働局健康安全課

地方産業安全専門官 松村 啓之

高所や急傾斜地での施工が中心となる治山林道工事において、労働災害ゼロに向けた危険予知活動等の基礎的な知識・技術を習得する。

研修Ⅳ 施工管理技術について

徳島県農林水産部農林水産基盤整備局

森林整備課

森林整備担当課長補佐 田岡 純司

治山林道工事を計画的に進め、品質の高い構造物を早く、安く、安全に作るために必要な施工管理の基礎的な知識・技術を習得する。



令和三年度 森林土木総合技術研修開催

令和三年九月八日から九日までの二日間、徳島県木材利用創造センター小講義室において、令和三年度森林土木総合技術研修を開催しました。

本研修会は、全国森林土木建設業協会が主催で、昨年度より新型コロナウイルスの感染予防対策として、WEB会議システム「ZOOM」を使用したオンライン形式で実施されていますが、本協会ではプロジェクトを活用し、少人数による集合研修として実施しました。

研修カリキュラムでは、林野庁整備課 春日森林土木専門官による「林道規程の改正概要と工事の受注について」の講義をはじめ、コマツカスタマーサポート(株)による「森林土木工事におけるICT施工の導



入に向けて」などの非常に興味深いテーマでの講義が行われました。
全国で、四四名の参加者のうち、本協会からは七名の会員が受講し、CPDS単位が合計91unit交付されました。

お知らせ 令和3年度治山林道技術研修会の開催について

今年度の技術研修会は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、「三密回避」のため、以下のとおり4会場で開催いたします。

西部会場

日時：令和3年10月25日(月) 10時～17時10分
場所：メイン会場 清月屋敷
(美馬市穴吹町穴吹市ノ下100-6)
サテライト会場 徳島県建設業協会 三好支部
(三好市池田町マチ2425-1)

東部会場

日時：令和3年10月26日(火) 10時～17時10分
場所：徳島県建設センター(徳島市富田浜2丁目10)

南部会場

日時：令和3年10月27日(水) 10時～17時10分
場所：徳島県建設業協会 那賀支部
(那賀町吉野字弥八かへ33-2)

研修内容

- 2004治山林道災害
- 那賀町阿津江地区の発災から復旧まで -
- 土木技術者の原点と今後の対策セミナーⅦ
- 労働安全衛生について ほか

* 本研修会は、継続教育学習制度(CPDS)の対象で学習プログラム(6unit)に登録されています。

第37回治山林道写真コンクール受賞者発表

「県民参加の治山林道写真コンクール」が、今年で37回を迎えることができました。このコンクールは、森林が持つ、「水を育み・災害を防止する」などの公益的機能を維持増進するために実施している治山林道事業をPRするものです。



優秀賞 那賀町 新居 健一

県内在住の幅広い年代の方々から、会心の作品を100点ご応募いただきまして、大変ありがとうございました。

去る6月10日に、県庁森林整備課担当をはじめとする審査員により、厳正な審査の結果、徳島市の丸田様の作品をはじめ9点が入賞しましたので、発表いたします。受賞された皆様方に心からお祝い申し上げます。

入賞者

最優秀賞 【1点】	徳島市 丸田 泰史	佳 作 【5点】	那賀町 岡田 千恵
優 秀 賞 【3点】	那賀町 新居 健一	吉野川市 岡村 純夫	
	松茂町 松田 咲季	石井町 福田 勝之	
	三好市 松下 京香	三好市 谷 雅文	
		神山町 森下 悟至	



優秀賞 松茂町 松田 咲季



優秀賞 三好市 松下 京香

編集後記

編集責任者
井関 廣幸

緊急事態宣言等の解除により、社会経済活動は新型コロナウイルス感染症の収束に向けての長かったトンネルから抜け出し、徐々に復調の兆しが見えてきました。

このような状況下で始まった令和4年度林野公共事業予算の概算要求については、森林整備と治山の両事業ともに、対前年度比では18.4%増となっています。

また、岸田新政権のもと、年内に数十兆円規模の経済対策が予定されていますので、本県の治山林道事業の予算拡大に向け、十分気を引き締めて、取り組んで参りたいと考えております。

今後とも、会員の皆様方のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本協会の主な動向（4月～10月）

- 6月 10日(木) 第37回治山林道写真コンクール審査会（徳島市）
- 14日(月) 令和3年度治山林道四国地区協議会（書面決議）
- 15日(火) 令和3年度公益社団法人徳島森林づくり推進機構通常総会（徳島市）
- 16日(水) 令和3年度一般社団法人全国森林土木建設業協会定時総会（web会議）
- 25日(金) 第33回施工委員会（徳島市：建設センター）
- 7月 5日(月) 令和3年度徳島県治山林道協会 第1回役員会
第63回通常総会（徳島市：建設センター）
- 9日(金) 徳島県山地防災ヘルパー連絡協議会 第25回役員会議（書面決議）
- 28日(水) 令和3年度徳島県森林協会通常総会（徳島市：自治会館）
- 30日(金) 令和3年度とくしま木づかい県民会議通常総会（徳島市）
- 8月 6日(金) 令和3年度治山林道技術基本研修会（徳島市：徳島県木材利用創造センター）
- 9月 8日(水)・9日(木) 令和3年度森林土木総合技術研修
（徳島市：徳島県木材利用創造センター）
- 15日(水) 林野公共事業予算に関する要望活動（東京都：林野庁ほか）
令和3年度一般社団法人日本治山治水協会定時総会（東京都）
- 10月 7日(木) 全国治山林道協会会長会議（広島県）
- 25日(月) 令和3年度治山林道技術研修会（西部会場）
- 26日(火) “（東部会場）
- 27日(水) “（南部会場）